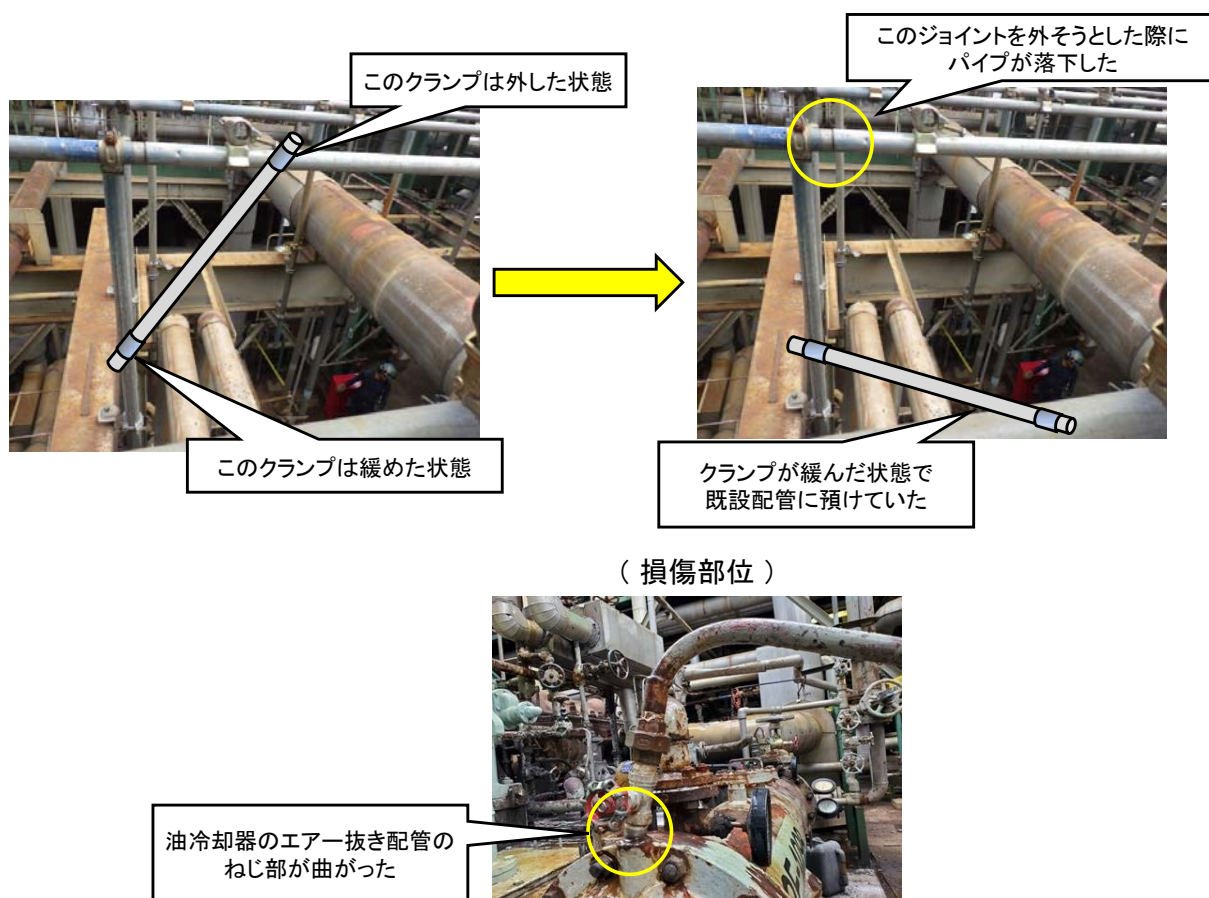


足場解体中 足場パイプを落下させて配管を損傷させた

【発生状況】

足場解体時、筋交パイプ用のクランプを緩めて 既設配管に預けていた。他の箇所のジョイントを外そうとした際に振動でパイプが落下し、下部の配管に当たり 損傷させた。



【原因・問題点】

- ①クランプを緩めた状態で足場パイプを既設配管に預けていた。(不安定な状態で不安定な箇所へ仮置きした)
- ②緩めたパイプを仮置きしたまま、他の箇所の解体を行った。

【対策】

- ①仮置きする際は 不安定な場所を避ける。
- ②適切な手順で作業を行う。(中途半端な状態で他の箇所の作業を行わない)